1. 選んだ本の書誌情報

野口旭『アベノミクスが変えた日本経済』ちくま新書、2018年

2. 目次

第1章 アベノミクスとは何だったのか

1. アベノミクスが取り戻そうとしたもの
2. 縮小均衡に陥っていた日本経済
3. アベノミクスはどのようにして生まれたのか
4. アベノミクスで何が変わったのか
消費者物価上昇率 050/雇用の改善 051, 054
5. アベノミクスの背後にある政策思想

第2章 世界大不況とアベノミクス

1. 遅れてきた大不況克服策としてのアベノミクス
2. 世界大不況の発端－サブプライム問題からリーマン・ショックへ
3. なぜ日本が最も大きく落ち込んだのか
4. 主要中央銀行における非伝統的金融政策の展開
5. 第2次安倍政権の成立と政策レジーム転換

第3章 異次元金融緩和政策の真実

1. 黒田日銀の異次元金融緩和は「失敗」したのか 115
2013年4月 異次元金融緩和を開始
2014年4月 消費税増税 8%へ
物価上昇率2%目標は5年以内にも達成できず 117
2. 黒田日銀が物価目標達成を延期した真の理由
3. 日銀の長期金利操作政策が奏功した理由
4. 異次元緩和からの「出口」をどう想定すべきか

第4章 雇用政策としてのアベノミクス

1. 日本経済はいつ完全雇用を達成するのか
2. 日本は若年層の雇用格差を克服できるのか
3. 雇用が回復しても賃金が上がりにくかった理由

第5章 経済政策における緊縮と反緊縮

1. 日銀債務超過論の不毛
2. 国債が下落しても誰も困らない理由
3. 健全財政という危険な観念
4. 政府債務はどこまで将来世代の負担なのか

おわりに

3. 著者紹介

1958年 北海道生まれ

1982年 東京大学経済学部卒業

1988年 専修大学経済学部講師

現在 専修大学経済学部教授

著書

『経済学を知らないエコノミストたち』2003年

『グローバル経済を学ぶ』2007年

『世界は危機を克服する：ケインズ主義 2.0』2015年

『経済政策形成の論理と現実』2020年

4.選定理由

1. 好景気になった実感がないから
2. アベノミクスとはどのようなものか
3. アベノミクス以前の問題点
4. アベノミクスの功績は何か
5. アベノミクスによって雇用は増加したのか
6. 賃金が何故上がらなかったのか
7. デフレーションに対する日本銀行の対応
8. 日本銀行の金融緩和とは
9. 消費税増税の狙いとは
10. 長期政権になった理由